

令和4年9月定例県議会の概要について

概 要

「一般質問」での教育委員会関係の主な質疑応答

石本 政弘 議員

教育・福祉対策について

(1) 松浦高校の生徒確保対策について

- ・文理探究科と並行して地域科学科の広報にも力を入れるべきだと思いがいかがか。

(教育長答弁)

松浦高校においては、これまで松浦市や地元企業等の支援を受け、地域課題の探究型学習に取り組んできたことから、今年度、新たに地域科学科が設置され、また、国の研究事業の指定校にも採択されています。

この事業の中で、学校と地域をつなぐコーディネーターを雇用し、地元中学校へのPRを強化しており、さらにメディアを利用した広報や、小中学校との交流学习などを通して、地域科学科の学びの特徴と魅力を積極的に発信しているところです。

- ・県立大学の入試において優位性が認められるようならぬかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

県立大学と県教育委員会は、連携・協力に関する協定書を交わしており、県立高校において、探究的な学びを特色とする地域科学科や来年度5校に開設する文理探究科の生徒を対象に、議員ご提案の大学入試の特別枠が設けられないか、今後、県立大学と協議してまいります。

(2) ヤングケアラーに対する県の支援策について

- ・まずは、教職員の研修を充実させる必要があると考えるが、具体的にどのような対策を考えているのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

学校においてヤングケアラーを早期に発見し、適切な支援につなげるには、普段接している子供たちをよく観察し、ケアラーがいる可能性を意識しておくことが重要です。

このため、厚生労働省が作成したガイドラインを各学校に周知するなど、教職員のヤングケアラーに対する認知力の向上を図っているところであります。

	<p>今後、スクールソーシャルワーカーや関係機関とも連携した研修を実施するなど、教職員のヤングケアラーに対する意識を一層高め、早期発見とその対応についての理解と啓発に努めてまいります。</p>
--	--